

清瀬市の学校教育・生涯学習の「今」をお伝えする情報誌

子供が育つ 市民が育つ まちも育つ 清瀬の教育

教育委員会だより

Kiyose

きよせ

54号

令和元年(2019年)
9月1日発行



オリンピック・パラリンピック教育の一環として市内中学校でおこなわれた車いすバスケットボールの様子

ピックアップ記事

- ★ 小・中学校でオリンピック・パラリンピック教育を実践 (2ページ)
- ★ 楽しく夢中になれる 清瀬の英語教育 (3ページ)
- ★ 令和元年度シニアカレッジのご紹介 (4ページ)
- ★ 就学援助申請は通年受け付けます (4ページ)
- ★ 清瀬市立図書館読書交流会 (5ページ)
- ★ 清瀬第二中学校の食育への取組 (6ページ)
- ★ 柳瀬川縄文ロマン展 (7ページ)
- ★ 教育委員のご紹介 (8ページ)

東京2020パラリンピック大会まで あと1年!!

パラリンピックの正式種目「ボッチャ」をご存じですか？

障害者のために考案されたヨーロッパ発祥のスポーツです。ジャックボールと呼ばれる白い目標球に、チームのボールをいかに近づけられるかを競うもので、技術はもちろん、戦略も重要で頭脳戦としても楽しめ、近年障害の有無に関わらず、誰でも楽しめるスポーツとして注目されています。

1Year to Go!



令和2年2月に多摩26市が連携して「東京都市町村ボッチャ大会2020」を開催することになりました。12月には「ボッチャ多摩六都カップ」も開催します。

申込方法や詳細は、10月中旬頃に市報やホームページにてお知らせする予定です。

生涯学習スポーツ課では「ボッチャ」の道具も随時貸出を行っています。

「ボッチャ」に少しでも興味のある方は、練習して参加してみませんか？

みなさまのご参加をお待ちしています!!



※詳しくは生涯学習スポーツ課まで ☎495-7001 清瀬市

小・中学校でオリンピック・パラリンピック教育を実践

東京オリンピック・パラリンピックに向け、市立小・中学校では東京都教育委員会協力のもと、オリンピックやパラリンピックの方をゲスト講師に迎え、特別授業や講演会を実施しています。6月28日(金)には、清瀬第四小学校で「夢・未来プロジェクト」として元体操競技日本代表の坂本功貴さんをお招きしました。6年生を対象にした特別授業ではマット運動の「前転」をテーマにし、上手に回るコツを伝授していただきました。

今後も各学校で児童・生徒が憧れのオリンピック・パラリンピックと直接触れ合い、夢や未来に向かって努力する意欲の醸成に努めていきます。

※詳しくは指導課指導事務係まで ☎497-2554



今年もビブリオバトルを開催

昨年のビブリオバトルチャンプ本



鳥類学者だからって
鳥が好きだと思うなよ。
川上和人／著 新潮社刊

清瀬市教育委員会では10月17日(木)から19日(土)までを「清瀬教育の日」とし、様々なイベントを開催します。そのうちの19日(土)は、都立清瀬高等学校を会場にした「清瀬教育の日ビブリオバトル」を開催します。前半に市立小学校児童と都立清瀬高等学校生徒らによる書評発表を行い、後半に市立中学校生徒によるビブリオバトルを行います。

ビブリオバトルとは書評合戦のことで、自分が他人にお勧めしたい本を5分程度で紹介し、それを聞いた参加者が一番読みたいと思った本に投票して「チャンプ本」を決定するというものです。一般の方も参観可能ですので、ぜひ会場へお越しください。イベント内容については教育委員会ホームページをご覧ください。

※詳しくは指導課指導事務係まで ☎497-2554

楽しく夢中になれる 清瀬の英語教育

令和2年度から新学習指導要領の全面実施により、小学校3・4年生に「外国語活動」が導入され、小学校5・6年生で「外国語」が教科となり、どちらも英語を中心に学習します。

小学校3・4年生では、「聞くこと」「話すこと」を中心とした、英語に慣れ親しむ活動を行い、小学校5・6年生では、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を通して、英語によるコミュニケーションの基礎を学びます。

この新学習指導要領の全面実施と重なるように、日本ではオリンピック・パラリンピックが開催され世界中の人々が集まることから、英語教育への関心がますます高まっています。そこで清瀬市教育委員会では、児童・生徒が自発的・能動的に、楽しく夢中になれる英語のアクティブラーニングを推進しています。

「Fun! Fun! English in TGG」での英語学習活動

清瀬市では、昨年度・一昨年度で、市立小学校5・6年生と中学校1・2年生の希望者を対象に、外国人講師陣と清瀬市立科山荘での3日間英語漬けの生活を送る“English Camp in Tateshina”を実施しました。今年度はこれをさらに発展させ、より実戦に近い場面で英語を使ってコミュニケーション能力を高められる、“Fun! Fun! English in TGG”と題した英語体験ツアーを実施しました。

7月30日、31日に東京都英語村とも呼ばれる、東京都教育委員会と株式会社TOKYO GLOBAL GATEWAY(“TGG”)が提供する新しいタイプの英語学習施設を体験しました。飛行機やレストラン、ホテルなど具体的な場面を想定した作りとなっており、市立小学校5・6年生(82名)と、中学校1・2年生(37名)の希望者を対象に、現実に近い環境で英語を使ったコミュニケーションのトレーニングができました。



スーパーマーケットでカウンター内の商品注文します



ホテルで希望する部屋のタイプを伝えます



1回学んだことをふり返ります



空港のお土産屋さんで買い物をします



飛行機内でアナウンスを聞き取ります

ホテルの場面ではチェックインやチェックアウトのほか希望の部屋を伝えたりルームサービスを注文するなどの具体的な会話を体験しました。参加者からは「自分の英語が通じて嬉しかった。」「英語を聞き取り、返事をするのができ、自信がついた。」など、成功体験が多く聞かれたほか「もっと英語を話したい。」という声が湧き上がりました。

※詳しくは指導課指導事務係まで ☎497-2554

令和元年度シニアカレッジのご紹介

清瀬市では、55歳以上の市内在住・在勤の方を対象に、シニアカレッジを開講しています。令和元年度は受講者参加型の授業を多く開講していきます。「歌声喫茶」「歌曲で学ぶドイツ語」「漢(おとこ)の漢による漢のための裁縫教室」など、体験しながら他の参加者との交流を深め、新しいフィールドへ挑戦していただける機会になるはずです。

5月に実施した「初夏を彩る生きものたち～清瀬周辺の自然」では、最初に座学で初夏の清瀬で見られる動植物について学び、次に中里と金山緑地で自然観察をしました。

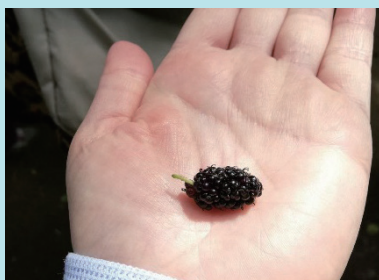
清瀬に長く住まわれている受講生も多くいらしたのですが、「知らなかった動植物がたくさんあった。自然の神秘を感じて楽しかった。」「もっとよく観察したくて、あとで友人と一緒に同じコースを歩いた。」「覚えた花の名前を家族に教えたい。」など、新しい発見に胸を躍らせた方もいらしたようです。



初夏の金山緑地を散策



夏に見かけるアゲハチョウ



昔懐かし桑の実



雑木林で新たな発見！

シニアカレッジでは、講座終了後も自分の中で知識を深めたり、学んだことを身近な人と共有し、次世代へつないでいくといった「学びの循環」を目指しています。学びは子供から大人まで生涯続いていくものです。生涯学習の一助として、また世代を超えた学びの輪が生まれることを目指して講座の充実を図って参ります。

※詳しくは生涯学習スポーツ課まで ☎495-7001

就学援助申請は通年受け付けます

申請受付場所：教育総務課学務係
(市役所3階41番窓口)

就学援助制度は、市内に住民登録しており、お子さまが公立の小・中学校に在学し、経済的理由で困りのご家庭に対し、学用品費や給食費等、教育費の一部を援助する制度です。

認定基準（前年中の収入額等）があり、毎年度申請が必要です。認定となった場合は申請した月分からの支給となるため、ご希望の方は、お早めに申請をしてください。また、世帯の中に前年所得が未申告の方がいる場合は審査できませんので、必ず申告を済ませてから申請してください。

〈申請に必要なもの〉※詳しくは教育委員会ホームページをご覧ください。

1. 記入した申請書（4月に市立小・中学校にてお子さまを通じて配布しております。教育総務課学務係窓口にも用紙をご用意しております。）
2. 同一世帯全員分の平成30年の収入を証明できる書類の写し（源泉徴収票、確定申告書の控え等）
3. 平成30年1月から12月までの家賃を証明できる書類（賃貸住宅にお住まいの方）
4. 印鑑（必ずご持参ください。認印可）
5. 預金通帳（振込口座の確認のため）

※お子さまが特別支援学級または在籍校以外の通級指導学級に公共交通機関等を利用して通学している場合は、他に通学費申請書がありますので、受付職員に伝えてください。

令和元年度より一部費目において支給額が増額となります。（※認定された方にお送りしている支給額明細から一部変更があります。）

【新入学学用品費】小学1年生40,600円⇒50,600円、中学1年生47,400円⇒57,400円

【学用品費・校外活動費・通学用品費】小学1年生12,990円⇒13,100円、小学2～6年生

15,220円⇒15,350円、中学1年生24,590円⇒24,800円、中学2～3年生26,820円⇒27,050円

清瀬市立図書館読書交流会

読書交流会は、読書を通して市民の皆様の交流を図り、図書館を一層気軽にご利用いただくことを目的として開催しています。平成27年9月に、当時ベストセラーになり大きな話題となっていたトマ・ピケティ著「21世紀の資本」を、小苺米清弘東洋大学名誉教授に解説していただいた第1回に始まり、令和元年6月の高野一枝氏まで15回開催し、延べ221名の皆さまにご参加いただいています。

これからも、本市に縁のある方々に幅広く図書をご紹介しますので、皆さまお気軽にご参加ください。



第1回	「21世紀の資本…T.ピケティの残したもの」	小苺米清弘氏（東洋大学名誉教授）
第2回	「太宰治著 お伽草紙」	藤森幸子氏（学校図書館運営支援員）
第3回	「結核の事ご存じですか」	佐藤和美氏（結核研究所図書管理課長）
第4回	「銀河鉄道の夜をめぐる」	関谷ただし氏（瑞穂町教育委員）
第5回	「清瀬市の歴史と文化」	東野豊秋氏（清瀬市郷土博物館学芸員）
第6回	「ベアテ・シロタ・ゴードンの自伝を読む」	小苺米清弘氏（東洋大学名誉教授）
第7回	「縮充する日本」	菱沼幹男氏（日本社会事業大学准教授）
第8回	「知ってる？ぼく・わたし」	長谷川幸男氏（西東京市わかば文庫主催）
第9回	「四季を彩る生きものたち」	森田善朗氏（元清瀬市郷土博物館館長）
第10回	「大不平等」	小苺米清弘氏（東洋大学名誉教授）
第11回	「フォトミュージアム清瀬」	栗山究氏（清瀬市郷土博物館友の会会長）
第12回	「中学生が語る 本てこんなに面白い」	中学生4名（市内公立中学校）
第13回	「華岡青洲の妻」	馬場正樹氏（明治薬科大学准教授）
第14回	「金持ち課税」	小苺米清弘氏（東洋大学名誉教授）
第15回	「還暦過ぎて本を出した！」	高野一枝氏（ライブラリーコーディネーター）

図書館職員によるおすすめ図書

「知れば知るほど 行司・呼出し・床山」

編著：「相撲」編集部
出版：ベースボール・マガジン社

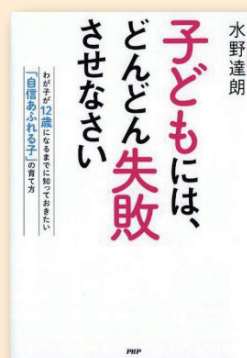


裏方と呼ばれがちな行司・呼出し・床山は、大相撲を支える縁の下の力持ちであると同時に、なくてはならないもう一つの花形。伝統文化を支えるこの三職の成り立ちや装束、仕事について、歴史をひも解きながら詳しく紹介します。

（駅前図書館所蔵）

「子どもには、 どんどん失敗させなさい」

著：水野 達朗
出版：PHP研究所



その親の一言、子どものやる気を削いでしまいませんか？わが子がたくましく、自信と自己肯定感を身につけ、希望に向かって進んでいくために、親の言葉や行動を家庭教育現場の事例や心理学、イラストを使ってわかりやすく紹介します。（中央図書館所蔵）

清瀬第二中学校の食育への取組

二中では、偏食や時間が足りないといった理由による給食での食べ残しが大きな課題となっています。給食を残さず食べることが、生徒の心身の健全な成長に繋がるという事を教職員の共通理解とした上で、生徒と一丸となって課題克服のための取り組みを行っています。

「給食めも」による、毎日の給食紹介

その日の給食のアピールポイントをカードにしてワゴンに乗せます。カードの内容は地産地消、食べ物の栄養の話、旬の話、給食室での苦労話など…生徒たちの興味・関心を高められるよう、栄養士が工夫して作成しています。

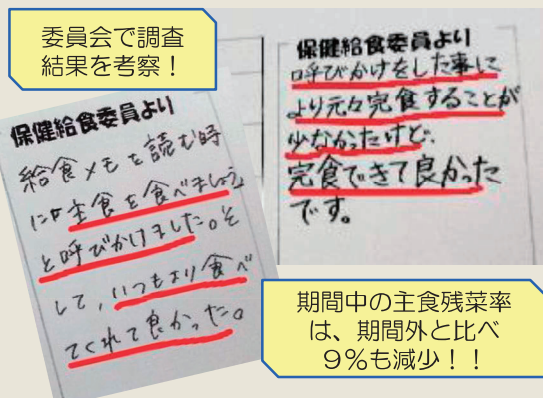
また、終わった日のカードは月ごとにまとめ掲示しています。並べて掲示しておくことで、自分たちの食べた給食について、振り返る機会を作ることができます。



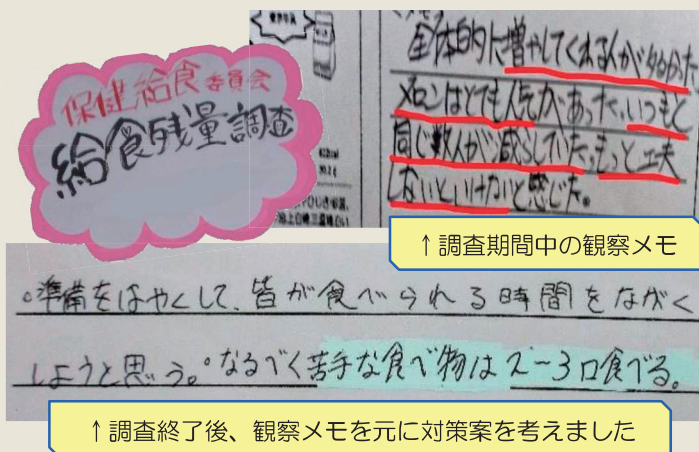
保健給食委員会による活動

右の写真のように給食めもを「いただきます」の挨拶前に読みあげています。またセレクト給食など生徒たちのお楽しみイベントの他、給食の食べ残しを減らすためのキャンペーンも実施しています。主食の食べ残しの多さが課題であった昨年度は、「主食を食べよう」キャンペーンを実施し、期間中の主食の食べ残しを減らすことに成功しました。

今年度はキャンペーンのテーマを考える中で、クラスによって課題が異なることに気が付き、クラスにあった呼びかけを行ってはどうかという意見が委員から出ました。そこで、給食残量調査を行い、食べ残しの傾向を調べた結果、クラスごとの課題を把握し対策案を考えることができました。今後は対策案の実行方法を考え、取り組んでいきます。



平成30年度「主食を食べようキャンペーン」の結果



令和元年度「給食残量調査（食べ残り傾向調べ）」の結果
※詳しくは教育総務課学務係まで ☎497-2539



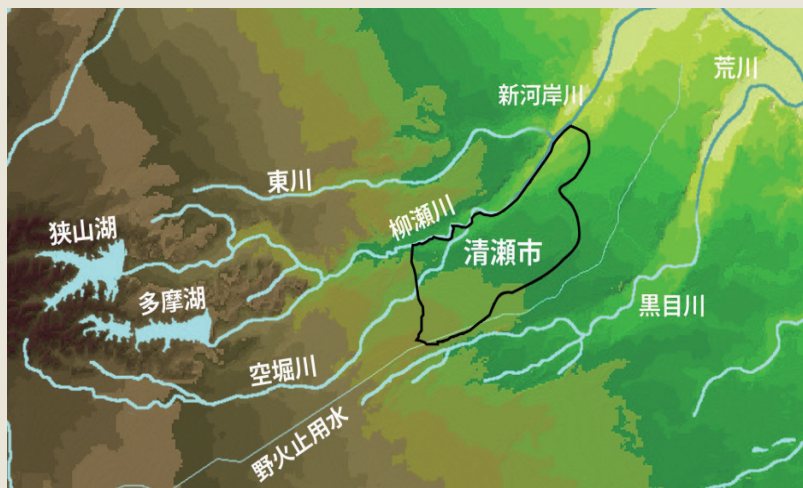
私たちはまだ清瀬の縄文時代を知らなかった 柳瀬川縄文ロマン展



清瀬市内を流れる柳瀬川と空堀川は、昔から人々や動植物に数多くの恩恵を与えてきました。本展では、柳瀬川および空堀川の縄文時代を中心に、様々な資料を展示し、清瀬の発展の礎となった柳瀬川流域の歴史を紹介します。ここでは、展示内容をちょっとだけ紹介します。

そもそも柳瀬川はどんな川？

柳瀬川は、現在の狭山湖を源流に東に流れ、埼玉県志木市で新河岸川に合流する全長 19.6 km、流域面積 95.5 km²になる武蔵野台地西部の主要河川の1つです。また支流は、清瀬市内を流れる空堀川などがあげられます。市内の柳瀬川は、埼玉県所沢市との県境に沿って流れ、中里付近で支流の空堀川と合流します。



柳瀬川流域の縄文時代

市内の縄文時代の遺跡は、柳瀬川流域に沿って数多く見つかっています。特に、柳瀬川と空堀川が流れている野塩付近で行なわれた数回の発掘調査から、縄文時代の住居や縄文土器、そして石器が数多く見つかり、この周辺に縄文人の村がいくつも存在していたことがわかっています。



野塩前原遺跡出土有孔罎付縄文土器



野塩遺跡群出土の縄文土器と石器



ここがみどころ！！

- 市内出土の縄文土器が大集合
- 幻の遺跡、強清水遺跡出土資料を初公開
- 江戸時代の下宿村の一部を復元した模型を展示
- 柳瀬川の氾濫を記録した文書・写真を公開
- 柳瀬川の流域に育まれる動植物を紹介

皆さんの知らない柳瀬川があります。この機会に新たな発見をしてみませんか？
柳瀬川再発見！！
御来館をお待ちしています。



柳瀬川縄文ロマン展

会場：清瀬市郷土博物館

会期：11/2（土）～24（日）休館日：11/5・11・18

時間：9：00～17：00（最終入場 16：30）

イベントなどの詳細は、市報やHPをご覧ください

※詳しくは郷土博物館まで ☎493-8585



令和元年度 後期イベント一覧

※詳しくは各所管課までお問い合わせください

月 日	場 所	事 業 名	所 管 課
9月23日	内山運動公園サッカー場	ティーボール大会	生涯学習スポーツ課
10月14日	清瀬第八小学校～けやき通り	市民マラソン大会	生涯学習スポーツ課
10月17日～19日	市内小・中学校 都立清瀬高等学校	清瀬教育の日	指導課
10月27日	清瀬けやきホール	第11回石田波郷俳句大会	生涯学習スポーツ課
11月10日、17日	内山運動公園サッカー場	少年・少女サッカー大会	生涯学習スポーツ課
11月2日～24日	郷土博物館	特別展「柳瀬川縄文ロマン展」	郷土博物館
12月11日、18日、 19日、25日	市内図書館	図書館事業冬の子ども会	図書館
2月1日、8日	下宿市民体育館	スーパードッジボール大会	生涯学習スポーツ課

教育委員の ご紹介

土屋 佳子 氏



植松紀子委員の任期満了にともない、平成31年4月1日より、土屋佳子氏が清瀬市教育委員に就任されました。

土屋氏はスクールソーシャルワークを専門領域とし、3.11後の福島県で活動した実績があります。任期は令和5年3月31日までです。

教育委員会の動き

令和元年1月から7月までの審議状況をお知らせします。この間に定例会を7回、臨時会を1回開催しました。審議された議案は下記のとおりです。

●議案第1号 清瀬市教育委員会表彰 被表彰候補者の追加等について ●議案第2号「清瀬市生涯学習基本方針」に係る諮問について ●議案第3号 清瀬市立小中学校管理職の配置について ●議案第4号 清瀬市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について ●議案第5号 清瀬市立学校事務共同実施要綱の制定について ●議案第6号 清瀬市教育委員会事務局職員職務権限規程の一部改正について ●議案第7号 清瀬市立小中学校文書管理要綱の一部改正について ●議案第8号 清瀬市立学校施設のスポーツ及び遊び場解放に関する規則の一部を改正する規則について ●議案第9号 清瀬市立学校事案決定規定の一部改正について ●議案第10号 清瀬市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正について ●議案第11号 清瀬市立小学校教科用図書採択要綱の廃止について ●議案第12号 清瀬市立中学校教科用図書採択要綱の廃止について ●議案第13号 清瀬市立小・中学校教科用図書採択要綱の制定について ●議案第14号 清瀬市立小・中学校特別支援学級教科用図書採択要綱の一部改正について ●議案第15号 清瀬市スポーツ推進委員の選任について ●議案第16号 清瀬市生涯学習センター条例施行規則の一部を改正する規則について ●議案第17号 事務の臨時代理の承認について ●議案第18号 事務の臨時代理の承認について ●議案第19号 清瀬市コミュニティプラザ条例施行規則の一部を改正する規則について ●議案第20号 清瀬市民文化センター条例施行規則の一部を改正する規則について ●議案第21号 事務の臨時代理の承認について

※詳しくは教育総務課庶務係まで ☎497-2537

◆本紙の音声版をウェブサイトで配信しています。また、秘書広報課で音声版を収録したCDを貸出しています。

編集・発行

清瀬市教育委員会

電話 042-492-5111 (代表) FAX 042-495-3940

ウェブサイト URI <http://www.kiyose.ed.jp/> 本紙へのご意見・ご感想をお寄せください。

教育委員会だより きよせ

検索

